

## 2007年度 法人事業計画

# 厳しい情勢を切り開き 経営改善を推し進めよう

2007年3月10日 宮城厚生協会理事会



下馬駅(左)と多賀城駅(右)で50名が早朝駅頭宣伝行動

「構造改革」による格差の激化と貧困の拡大の中で、生活保護基準以下の労働者や生活保護世帯が急増する一方、極端な形で大企業への利益集中が起きている。その結果、社会保障費の削減や医療費抑制等による「医療難民」「介護難民」「生活保護難民」「医師不足等による医療崩壊」等が大きな社会問題となり、国民的課題になっている。

厚生協会は、経営改善に向け、「宮城厚生協会再生中期経営計画案」を基に、どんなに厳しい情勢下でも、全職員と共同組織はじめ地域住民のみなさんと共に情勢を切り開いて、「宮城厚生協会再生中期

2、地域医療崩壊の中で、病院・診療所、歯科部門の地域での役割と存在意義を明確にし、地域連携の中で医療・

## はじめに

2007年3月21日  
第282号

発行  
(財)宮城厚生協会  
〒985-0835  
宮城県多賀城市下馬  
二丁目13番7号  
TEL 022-361-1113  
FAX 022-361-1124  
発行人：長澤清光

も、経営改善を推し進めていくこと、戦争をしない国、安心して必要な社会保障が受けられる国づくりを目指していくことを2007年度の事業計画を作るにあたっての決意とする。

3、医療機能の向上を図り、安全・安心、質の高い医療・介護を展開する。  
4、職員の誇りとやりがいのある職場づくりを進め、職員育成の充実と後継者養成に取組む。

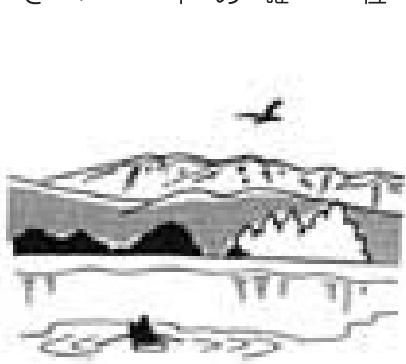
## 1、「厚生協会再生中期経営計画案」実践の初年度 2007年度法人事業計画の基本目標と位置づけ

宮城厚生協会の2007年度事業計画を進める基本的視点は、「宮城厚生協会再生中期経営計画案」実践初年度として、安定して黒字になる

経営構造構築を第一義的に位置づけて取組むことである。

1、事業収益142億円以上の確保で経常利益3億円をめざし、累積赤字解消の一年目となります。

(2面につづく)





## 二、事業活動の重点

1、協会事業発展のために事業収益142億円以上の確保と経常利益3億円をめざす今ある施設の効率的稼働で事業収益142億円以上を確保し、経常利益3億円をめざし経年的黒字構造確立の初年度とする。古川・長町の両歯科診療所の赤字経営からの脱却に向け、具体的に検討し、到達と期限を明確にして進める。

医師団会議

、急がれる職員育成、  
後継者養成  
、全職員への育成面接  
の実施と職場目標に基づく個人目標の確立、  
実践を具体的にすすめ、

ない病人への対策や医療相談活動等、人権・受療権を守る活動を重視し、医療の質、安全・安心・信頼の医療・福祉の取組みを強化する。医療整備チェックリスト作成と点検・マニュアルの継続的見直し・整備と遵守、医療倫理、終末期医療、高齢者医療に対する取組みを強化する。医師・看

## 2、人権を守り、安全・安心・

職員の努力が活きる業務運

第一回

65 田中：目的のないリハビリ具体化する。リハビリ部門は

### 三、各病院・事業所、 介護事業での重点課題

坂総合病院は、地域医療支援病院取得に向け条件整備を行い医師会との懇談等、可能性を追求する。保留50床の検討、及び地域連携バスの準備を行う。長町・泉の各病院は、一部急性期・リハビリ・高齢者・在宅・慢性疾患医療の分野で地域での役割を発揮、古川は上半期中に次期構想を

1、  
病院

③、事務系幹部養成を制度的に位置づけ、6カ月「コース」の事務幹部養成学校を開催する。職員が最低年1回の研修に参加できるようにする。

۲۶۰

3、介護事業

「在宅療養支援診療所」の由  
請を進める。

しての役割を引き続き果たすために在宅、健診、慢性疾患管理等の位置づけを強化する。地域の病院や訪問看護ステーションとの連携を強め、長町病院附属クリニックの経験に

## 「かかりつけ医療機関」と

を強化する。

保健予防活動を重視、運動療法センターの役割・位置づけを強化する。

## 2、賃金・退職金、人事制度の政策化

職員の年齢構成のアンバランスは正等の雇用制度見直しを行い、賃金・労働条件改善政策はじめ医師労働の評価・賃金見直し検討を行う。数年後の大量退職に耐えうる退職金政策、人事制度等についても職員皆さんに提起し検討

## 四、厚生協会再生中期経営 計画案を推進するための 政策的課題

をお願いする。

### 3、電子カルテの今後の対応

基幹システムとインートラネットとの情報システムの整備・改善に取組む。電子カルテを使用した法人内各病院・事業所との連携や地域連携のネットワーク構築を進める。現状をふまえ今後の対応の問題について本格的に検討する。

### 4、県連内法人との連携、事業協を軸にした対応

宮城民医連事業協が中長期事業計画構想の作成に向け委



シンポジウム「終末期医療」

34 法人、公益法人の改革が実施される。宮城



厚生協会の法人形態について検討する。公益財団法人に対する法人所得課税および寄付金に関わる税制の見直し措置がどうなることから、対応・準備を進め、公益性を拡大する意味で「生活困窮者への低額診療」再開問題も検討する。

員会を発足。事業協センター化等の共同事業に向け以下提案する。(1)資材・物流等の事業協への移管センター化。(2)患者・利用者送迎等の車両管理事業の統一事業化。(3)法人・事業所の任意保険の取扱い事業の統一化。(4)医師・看護師、技術職等の後継者確保対策事業。(5)介護事業、ケア付住宅等の共同開設事業。(6)事務管理業務のセンター化の準備。

### 5、公益法人改革への対応

2008年4月から民法

34 法人、公益法人の改

安心・安全に関わる医療の質の向上と医療整備推進、業務改善や職員育成・研修費用についての検討。医師賃金の見直し、情報関係システムの見直しに関わる原資の検討等、事業計画を推進する上で必要な費用について予算実行の中で検討し、具体化していく。尚、各病院・事業所の政策投資枠は2億円とし、基金・協会債でもかなつていいく。

### 五、事業計画を推進するまでの費用検討課題



梅が芽吹く加瀬沼公園(利府町)

事業所近況報告 くりこまクリーチク

### ③の話題 暖冬が介護支援事業、選挙

所長 大竹 康彦



診察中の大竹所長

**話題その1 史上最高気温?**  
の暖冬の影響で雪かき回数が激減。昨冬は11月から雪かきに追われ、腰痛や体調を崩す職員が続出したのですが、今シーズンは2回のみ。それもさらっと掃けば終わる程度のもので、昨年でいえば積雪に値しないもの。やや運動不足気味の一部職員には健康管理上困った現象でした。

**話題その2 今年度のケアマネージャー試験に2名が合格。合わせて3名となり、栗原市内でも有数の介護支援**

内に作業音が響いています。新人は現在研修中ですが、もう少しで実戦配備予定。地域の熱い要望（ちなみに栗原市では不十分な受け入れ枠確保のため、支援事業所に毎日受け入れ可能数報告が義務づけられました）をしつかり受け止められるよう、知識・感性にさりに磨きをかけています。

事業所に躍進。懸案事項となつていただ介護事業へのシフトを進める足がかりを作ることができました。現在その規模にふさわしい作業スペース作りのため改装中で、クリーチク内に作業音が響いています。

くりこまクリーチクとローテーションは連携しながらが

くりこまクリーチクとローテーションは連携しながらが  
ました、今職員は私も含め看護師（正職）3名体制です。

くりこまクリーチクとローテーションは連携しながらが  
られたこともあります。

栗駒は訪問看護の利用者が増えない所で、1回は黒字になりましたが今は赤字状態です。栗原市は若柳に看護協会のステーションと、一迫に山王系列のステーション、金成の老人施設内にもあります。当入所があります。24時間体制をとっていないのでターミナルや高度の医療治療をしてくる利用者はあまり紹介されません。褥創処置、バルーン交換、リハビリ、状態観察でケアマネジャーより紹介されています。利用者も26～28人／月、30分訪問が10人近くいます。主治医も栗駒中心でクリーチクを含め3つの医療機関がほとんどです。ケアマネジャー

くりこま訪問看護ステーション

### 明るいヘルギッシュ元気笑顔で対応

所長 中沢 栄子

事務スタッフ  
菅原恵子さん(右)  
佐藤徹事務長(中)  
岡本礼子さん(左)

**話題その3 いよいよ選挙**  
の年の序盤戦、統一地方選が近づいています。栗原地域でも友の会の会員さんが中心になつて、住民が主人公の政治をめざしてがんばっています。そのパワーに圧倒されながら、私たち職員も負けずに力を尽くしたいと思っています。以上、近況報告でした。

不足で待機の利用者が位いるとの情報でした。今年はクリーチクで3人体制になるので訪問看護の利用者も、増えしていくことを期待しています。数少ない利用者なので、ためにケアマネジャーも主担当に状況報告するよう努力しています。

今後も、スタッフ一同明るくエネルギーに、利用者の方に笑顔で対応し元気で過ごして頂けるよう、日々がんばっていきたいと思います。

SSTスタッフ  
及川優子さん(右)  
中澤栄子所長(中)  
高橋さおりさん(左)



講議する山田忠行弁護士

医療事故は、民事事件、行政処分にもなるし民事事件、刑事事件は警察もなりうる。刑事案件は警察テーマで講演していただきました。概要を紹介します。

医療事故は、民事事件、行政処分にもなるし民事事件、行政処分にもなりうる。刑事案件は警察

1月18日の坂総合病院全職員学習会で山田忠行弁護士（宮城厚生協会理事・顧問弁護士）を招き「医療事故と警察の取調べの心構え」という

の取調べから刑事罰といつ進み方、民事事件は損害賠償金の支払いとなることになる。

#### 民医連の場合

民医連の場合は、マスコミの影響、患者の権利意識の高まりなどの時代背景の中で、警察が医療事故を利用して病院に介入する傾向が強く、ま

た医療事故が刑事案件とされる傾向がある。それが選挙のときには、民医連攻撃を利用されたりする場合もある。神奈川の大田病院や東京のみさと病院の例があり、いずれも選挙が終わると警察の介入がおさまってしまうことになった。

医療事故刑事案件は、刑法では211条の一、業務上過失致死などに問われるこ

#### 一人で判断・行動しない

ここで、刑事案件の取調べから处罚までの流れが説明されました。

警察では取調べ・逮捕・送検、検察では取調べ・事件処理・起訴・公判請求・罰金(懲

刑)による結果を避けようとするので、「この結果は避けられるかどうか」という点から調査分析しなければならない。

○佐藤敏昭事務部長  
(坂病院訟務担当)から  
(講演を聴いて)

ところなる。内容としては、注意義務違反と結果(死亡など)に因果関係があるか、結果の予見可能性や回避可能性の有無が問われる。

虎ノ門病院の小松先生も述べているが、医療は常に改善すべき点があるので、結果から見れば至らない点が必ず存在する。それを後から見てす

べて過失とするのは問題であ

り、われわれは結果から調査

するのではなく、「医療行為

のその時点その時点」に立つ

て「この結果は避けることが

できなかつたかどうか」とい

う点から調査分析しなければ

ならない。

要。

警察の態度は、話を聞く、

調査する、理解する、といつ

ものではなく、「いかに証拠

固めをして犯人を特定するか

という」といふ形である。警察で

は怒鳴る、机をたたく、蹴と

ばすなどは普通のことである。

民医連の医師や看護師は優

しいので「話せばわかつても

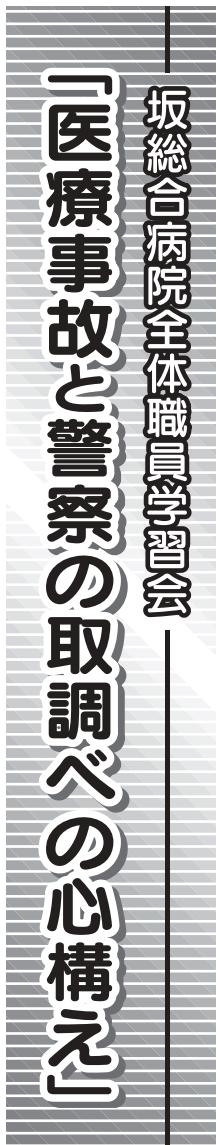
られる」という気持ちで警察

に対し答えててしまう。また

警察から「人が死んでいるの

## 「医療事故と警察の取調べの心構え」

坂総合病院全体職員学習会



役・禁固)じつ流れになれる。警察の取調べは、最初は任意捜査であり、これは拒否できる。国民救援会では任意出頭には「応じない」のが原則だが、慎重に判断して「応じた方がよい場合」もでてくる。一番悪いことは「自分が話せばわかつてもいえるだろ?」「きちんと話せば終わるだろ?」と考えて一人で行動してしまうこと。

逮捕された場合は、「弁護士を呼んでもほしい」

(弁護士の個人名でなく、中

央法律事務所の弁護士とか一

番町の弁護士とか)と言つこと。

任意出頭では、「一人に

しない、させない。必ず誰か

が同席する」ということが重

要。

警察の態度は、話を聞く、

調査する、理解する、といつ

ものではなく、「いかに証拠

固めをして犯人を特定するか

といふことに反する。警察で

は怒鳴る、机をたたく、蹴と

ばすなどは普通のことである。

民医連の医師や看護師は優

しいので「話せばわかつても

られる」という気持ちで警察

に対し答えてしまう。また

警察から「人が死んでいるの

だ、反省するいじはないのか

といわれる」と「〇〇が考えら

れる」などと話してしまう傾

向がある。これは警察では医

療者に不利に働くことになる。

最後に、警察対応で「一番

大事なのは、一人で判断しな

い、一人で行動しないとい

うこと」「これが今日の話の結

論です」という言葉で結ばれ

ました。

だ、反省するいじはないのか」といわれる」と「〇〇が考えられる」などと話してしまう傾向がある。これは警察では医療者に不利に働くことになる。役・禁固)じつ流れになれる。警察の取調べは、最初は任意捜査であり、これは拒否できる。国民救援会では任意出頭には「応じない」のが原則だが、慎重に判断して「応じた方がよい場合」もでてくる。一番悪いことは「自分が話せばわかつてもいえるだろ?」「きちんと話せば終わるだろ?」と考えて一人で行動してしまうこと。

(事務局)

といふこと。逮捕された場合は、「弁護士を呼んでもほしい」

(弁護士の個人名でなく、中

央法律事務所の弁護士とか一

番町の弁護士とか)と言つこと。

任意出頭では、「一人に

しない、させない。必ず誰か

が同席する」ということが重

要。

警察の態度は、話を聞く、

調査する、理解する、といつ

ものではなく、「いかに証拠

固めをして犯人を特定するか

といふことに反する。警察で

は怒鳴る、机をたたく、蹴と

ばすなどは普通のことである。

民医連の医師や看護師は優

しいので「話せばわかつても

られる」という気持ちで警察

に対し答えてしまう。また

警察から「人が死んでいるの

だ、反省するいじはないのか

といわれる」と「〇〇が考えら

れる」などと話してしまう傾

向がある。これは警察では医

療者に不利に働くことになる。



写真提供：村山むつ子さん（古川民主病院）

一泊二日御来光バスツアーノの折り込み広告に誘われて、妻へ許可を申し出ると、開口一番「一人で行つてもいいけど、そんな体力はあるの？」。寛容な妻に感謝しつつ、我に返り、体力的不安が脳裏に掠めた。

### 準備・トレーニング

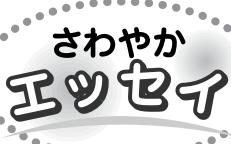
一般向けバスツアー、とはいって、登るには、この体重を2本足で運ばねばならない。しかも登るのは日本一高い富士山。「でもツアーノまで2ヶ月ある。明日と翌朝は大年寺門前の

「憧れの富士登山、アーノの折り込み広告に誘われて、妻へ許可を申し出ると、開口一番「一人で行つてもいいけど、そんな体力はあるの？」。寛容な妻に感謝しつつ、我に返り、体力的不安が脳裏に掠めた。

駒山などにハイキング。

ツアー前日は土曜日。午後6時過ぎに職場を離れ、近くのスポーツ店等で、携帯用酸素スプレー、行動食等を購入し準備終る。早めに床につくも遠足前日の子供の如く、なかなか眠れず。夜中にザックの中身の再点検などを繰り返し、結果的には2～3時間ウトウトしただけ。

登山当日の天気は、梅雨の中休み状態。参加者は、添乗



# お手軽、富士登山に初挑戦

長町クリニック歯科所長 山岸 定雄

員も含め23名。初心者からベテランの方々まで様々（さすが一般向けツアーノ）。朝7時過ぎに仙台駅前を出発。途中渋滞もあり、登山口の吉田口五合目到着は午後2時半過ぎ。到着後、すぐに登山開始かと思いきや、午後3時過ぎに出発とのこと。約40分程度の時間調整。（吉田口五合目は海拔2300m。東北最高峰の燧ヶ岳に匹敵。バスで一気に到達、このあと頂上までの約1400mの高度差を登るのは高所順応の為か。）

集合点呼の後、現地登山ガイドの紹介および登山ツアース、日程の諸注意あり。この時初めて、今回の登山は3776mのピークには登ららず、お鉢（3715m）で御来光を眺める登山であることを知る。参加者の数人も、自分同様に理解していたようだ、最高地点（剣ヶ峰）に登らないことに不満を漏らしていた。大いなる勘違い。

幾度かの小休止を挟み、溶岩道をジグザグ登る。植物層の少ない砂礫の山道を、ただただジグザグ登るのには、とにかく閉口する。唯一、眼下に宝石のように見える街の灯りが救いだ。

### 朝日に照らされた雲海

日も暮れた午後7時過ぎに山小屋到着。夕食は定番のカレーライス。高山病予防に水分を充分取り3時間ほど寝られず。午前0時に山頂へ向け出発。寝不足なのか、雑魚寝状態で仮眠。ほとんど重く感じる頭は、半分眠つたままで行動。この一日間で、まともに眠れたのは3～4時間程度。

夜明け前に山頂に到着するも御来光は拝めず。次回への期待となつた。しかし、庄巻は、日を釘付けにした、朝日に照らされた雲海。しばし水蒸気が作り出す大空の造形を楽しんだ。この後は、河口湖をを目指し電光石火の如く下山。

湖畔の温泉で汗を流した後、いつ高速に入つたか定かでない。帰りのバスは爆睡のまま仙台に到着。充実の二日間であつた。